

3月のことば 情緒の安定② ～「待つ」

三月弥生きた春来る。日本ではまだ寒い一月に新春、二月に立春、うすい雨水・・・そして啓蟄けいちつと、ず～っと春を待っています。

考えてみると、人生・生活のほとんどは、待って準備している時間です。

例えば、

- ・お餅を食べるのは一瞬。しかし年末より皆で搗ついて、飾り、正月や鏡開きを迎えるのを（待っている）。
- ・行事、発表を行うのは一瞬。しかし準備、練習をして、その事がいかに意義あるものかを分り（待っている）。
- ・子どもの成長を夢見て、人生計画を立てて、仕事をがんばって（待っている）。
- ・旅行へ行こうと計画、準備して（待っている）。

それで

この「待ち方」がポイント。・・・いかに、将来の、先のイメージを豊かにできるかに幸、不幸が左右されます。

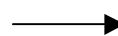
だから、子どもには準備が見えるようにして分らせることが必要です。

「遊びの順」や「音・匂いで美味しい食事」や「服を吊つるして見て楽しい行事」をイメージして静かに待てる・・・

そもそも日本人が、ず～っと春をイメージして情緒豊かに待つごと如く・・・

そこに文化が宿るのです。

正しい心



この土台が崩れては
なりません。

情緒の安定

生活習慣